

## 生活科学系コンソーシアム第37回会議議事録

日時 2023年3月27日(月) 10:00~11:00

場所 ビデオ会議 (Zoom)

出席者 (敬称略 あいうえお順)

構成学会 12学会 13名

国際服飾学会 安蔵裕子 (連絡担当者)

生活経済学会 倉田あゆ子 (連絡担当者)

日本衣服学会 村上かおり (会長)、谷田貝麻美子 (連絡担当者)

日本家政学会 藤井恵子 (連絡担当者)

日本家庭科教育学会 綿引伴子 (連絡担当者)

日本健康心理学会 遠藤公久 (連絡担当者)

日本消費者教育学会 大藪千穂 (会長)

日本食品衛生学会 小西良子 (会長)

日本繊維製品消費科学会 大矢 勝 (連絡担当者)

日本調理科学会 中澤弥子 (連絡担当者)

日本保育学会 波多野名奈 (連絡担当者)

服飾文化学会 内村理奈 (連絡担当者)

家政学分科会委員 11名

阿部栄子 池田彩子 小川宣子 工藤由貴子 重川純子 守隨香

杉山久仁子 鈴木恵美子 多屋淑子 都築和代 宮野道雄

欠席者

構成学会 3学会

日本健康医学会 日本健康科学学会 日本食品科学工学会

配布資料 資料1 出席者名簿

資料2 生活科学系コンソーシアム第36回議事録(案)

資料3 第14回生活科学系博士課程論文発表会

資料4 2022年度活動報告(案)

資料5 2022年度決算(案)

資料6 2023年度活動計画(案)

資料7 2023年度予算(案)

### 議題

(1) 生活科学系コンソーシアム第36回会議議事録(案)の承認

都築委員より第36回議事録案(資料2)が説明され、第36回会議議事録として承認された。

(2) 第14回生活科学系博士課程論文発表会について

杉山会長より、第14回生活科学系博士課程論文発表会を本会議後、13時から開催予

定であることが確認された（資料3）。座長選出や参加者募集における構成学会の協力に対しての謝辞があった。

（3）2022年度活動報告及び決算案について

杉山会長より、2022年度の活動報告（資料4）及び決算（資料5）について説明があった。決算の博士課程論文発表会費についてはこれから支出する予定の金額であることが確認された。なお、アルバイトの時給は東京の最低賃金が昨年1,072円となったことから、1,080円としていることが説明された。活動報告案、決算案ともに、総会にはかかることとなった。

（4）2023年度活動計画案及び予算案について

杉山会長より、2023年度の活動計画（資料6）及び予算（資料7）について説明があった。会議については、例年通り2023年5月に総会、9月に第38回会議、12月に第39回会議、2024年3月に第40回会議を予定することが提案された。総会と第38回会議はオンラインでの開催、シンポジウムと博士課程論文発表会を同日開催する第39回と第40回会議については対面での開催を予定して予算案を作成していることが説明された。また、活動計画の「5. その他」後援名義使用については日本家政学会第75回大会（2023年5月26～28日）を加えることが確認され、それ以外にも予定されているものがあれば総会までに連絡してほしいと依頼があった。活動計画案、予算案ともに総会にはかかることとなった。

（5）第16回生活科学系コンソーシアム総会について

杉山会長より、5月第2～3週、平日夕方を予定し、日程はアンケートを取って確定すること、総会については会長と連絡担当者2名（代理可）に出席をお願いしていることの説明があった。

（6）その他

構成学会の行事予定を生活科学系コンソーシアムのHPに掲載するので情報を事務局に随時連絡してほしいこと、会長や連絡担当者の交代がある場合も連絡を会長と事務局に連絡してほしいことが説明された。

## 報告

（1）構成学会から

各構成学会より、2022年12月の会議以降の学会活動について報告が行われた。

（2）家政学分科会から

杉山会長から2月24日に実施した日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会主催のシンポジウム「子育て支援の継続性を高めるために一新した視点の提案」を実施し、構成学会からも参加協力いただいたことについて謝辞があった。当日の資料や録画が日本学術会議のHPに掲載されていることが報告された。このシンポジウムに関連して、子育て支援に関する「報告」を今月末までに日本学術会議に提出する予定であることが報告された。

以上